

予算特別委員会 の 審査概要

3月3日の本会議において、予算特別委員会を設置し、平成14年度補正予算は一般会計予算ほか特別会計予算4件が、平成15年度当初予算は一般会計予算ほか特別会計予算7件の計13件を付託しました。

本委員会は、今定例会から正副議長を除く34人の議員で構成することとなり、委員長に二木孝之議員、副委員長に猪野滋議員を選任しました。

本委員会による平成14年度の各会計補正予算の審査は、3月10、11日の2日間行い、一般会計補正予算は賛成多数で、その他の特別会計補正予算は全会一致でそれぞれ可決しました。

また、平成15年度の当初予算の審査は、同月18、25日までの平日5日間行い、一般会計予算、国民健康保険特別会計予算及び介護保険特別会計予算は賛成多数で、その他の特別会計予算は全会一致でそれぞれ可決しました。



田無庁舎に新設されたエスカレーター

一般会計予算に 対する討論

反 対
教育・福祉切り捨て
開発偏重予算に反対
日本共産党西東京市議団
保谷 清子

乳幼児医療費無料化を3歳未満児まで所得制限をなくす、下水道使用料を低い田無地域の料金体系に合わせる、ひばりヶ丘駅・東伏見駅のエレベーター・エスカレーター設置など、市民要求にこたえたものもある。しかし、合併記念公園、保谷駅南口再開発事業、リサイクルプラザの建設は、不況で暮らしが厳しい中で凍結・見直しをすべきだ。介護保険の利用者負担軽減と東京都の老人福祉手当中止について、市独自の予算措置をしないなど、福祉に冷たい。

反 対
企業の参入する認証保育所は、保育料が高い、施設が狭いなどの問題があり、市の保育園を増設すべきだ。中学校給食は、学校給食法に基づく中学校給食を検討すべきだ。公民館の統一は、各館独立館方式に戻すべきだ。合併3周年記念事業に総額4千万円もかけることは、今の時期に必要なない。以上の理由により反対をする。

減と東京都の老人福祉手当中止について、市独自の予算措置をしないなど、福祉に冷たい。

反 対
厳しい財政状況
組織力の強化を！
民主党西東京
桐山ひとみ

「合併パブル」で喜んではいけません！依然厳しい財政状況である。自主財源の市税、利子割交付金の大幅な減額、地方交付税や臨時財政対策債等の大幅な増額により依存財源に頼る状況は変わらず、財政構造の硬化は続いていく。合併当初の財政力の強化はうそなのか。評価する主な点は、10月より3歳未満の乳幼児医療費助成制度の無料化、下水道使用料を低い田無市料金に統一、障がい者の就労支援事業等である。しかしながら、厳しい経済状況の中、合併3周年記念各種事業（行政主導型）を計画していること、はなパスのルート拡大では、限度額・

財源目標を定めず無策的なこと、普通学級に通う障がい児介助員配置の予算措置がされないこと、都市整備関連事業においては、予算書の欠落を初め組織の緩みが目立つ。特に用途地域については、補助職員のかかわる土地であることが明らかになった。市民感情論からは到底納得できない！

財源目標を定めず無策的なこと、普通学級に通う障がい児介助員配置の予算措置がされないこと、都市整備関連事業においては、予算書の欠落を初め組織の緩みが目立つ。特に用途地域については、補助職員のかかわる土地であることが明らかになった。市民感情論からは到底納得できない！

反 対
負担とリスクの
先送り予算に反対
無所属
森 輝雄

国の財政状況が好転する兆しを見せない中で、西東京市は国への財政依存を強めている。中でも地方交付税本体より国保証の借金、臨時財政対策債への依存度を高め、負担を先送りしている。15年度で廃止される

この借金のかわりの財源は全く提示されていない。今や、将来世代が受容可能な負担、リスクを考えた財政、行政の運営を行っていかねばいけない時代に入っている。国依存ではなく、地方自治体自身が責任を持って、行政運営に当たらなければいけない。そのために市民に問いかけ、市民の納得を得てい

に44億円にも上っており、もし合併反対のデマ宣伝に流されて合併が実現していなければ、日々の厳しい生活にさらに44億にも上る市民サービス事業の切り捨てが直撃していたことは明白であり、「合併は市民いじめ」という無定見きわまらない宣伝は、市民いじめそのものであると断ぜざるを得ません。最後に、今後には備え、基金の積み増しと民間委託等、行革の前倒し実施を強く要望し、本予算を市民待望の予算と高く評価し、賛成討論いたします。

賛 成
大きな合併財源で
福祉重点予算を実現
自由民主党
酒井 澄

本年度予算は新市建設事業の継続と高齢者・子育て支援事業や教育・医療環境事業等の一層の充実など、市民生活改善へ向けての福祉重点型予算となっており、また、西東京市誕生3周年17事業の実施はサッカー、野球、商店街記念事業支援も含め、子どもから大人まで幅広い市民の参加が期待できる時宜を得た事業です。さらに、本予算への合併に伴う財源の算入総額は実

賛 成
行政評価、政策評価
の取り組みを
市民クラブ
相馬 和弘

合併3年目のスタートの予算である。市税収入が大きく落ち込む中、新市建設計画の適切な事業執行、合併に伴う行政改革の推進、市民ニーズを的確にとらえ、中・長期的な財政計画の見通しが必要である。15年度は駅のバリアフリー化事業、合併記念公園の整備、痴呆性高齢者グループホームの整備、ISO14001の認証取得など、教育・福祉・都市基盤整備

賛 成
開発志向に走らぬ
統合計画をつくれ
無所属
土井 節子

本予算は、合併時に市民に約束した新市建設計画を基本に、福祉、教育等の施策を加味したもので、全体としては賛成する。問題点を指摘する。

本予算は歳入歳出それぞれ555億9千300万円であり、我が国の低迷する厳しい社会経済情勢を反映し、前年度比7.1%の減と、歳入構造は極めて厳しい状況である。しかし、国・都補助金や合併特別債をもとに効率的な政策の選択を行い、行財政改革の視点をゆるがせにせず、新市建設計画の着実な実行並びに目下必要とされる各種施策の展開等を図つたことは十分評価するもの

本年度は、新市の骨格となる基本構想・基本計画の策定、行政評価制度の試行等、行政執行の基本となる重要な施策関連経費が盛り込まれている。また、西東京市誕生3周年記念事業も、新市の一体感の醸成のために適切な執行を期待する。さらには、新規事業として「障害者就業援助」「高齢者見守りネットワーク」「3歳児未満の乳幼児医療費の無料化」等も盛り込まれ、より魅力あふれるまちづくりを期待するものである。

平成15年度一般会計予算は総額555億9千300万円、伸び率はマイナス7.1%、市税も3年連続で前年度を下回っている。

合併して3年目、こうした厳しい財政状況の中でも、市は一定の行政水準を維持しつつ、なお新市の計画事業を推進していくことが求められている。「はなパス」は利用者累計50万人以上となり好評だが、運営費の増嵩・ルート

一方、住基ネットに対する市民アンケート、補助金の見直し、総合計画策定前の市民説明会、障がい児の介助員、振興基金の活用や教育計画への市民参加に課題を残した。また公共施設等の新規整備は精選・抑制する方向で適正配置計画を基本に歯どめが必要。駅前再開発や新庁舎も例外ではない。善処を求め賛成とする。

市民一体化へ向け適正効率な予算執行を
自由民主党西東京市議団
海老沢 進

市民一体化へ向け適正効率な予算執行を自由民主党西東京市議団海老沢 進

市民一体化へ向け適正効率な予算執行を自由民主党西東京市議団海老沢 進

市民一体化へ向け適正効率な予算執行を自由民主党西東京市議団海老沢 進

市民一体化へ向け適正効率な予算執行を自由民主党西東京市議団海老沢 進

市民一体化へ向け適正効率な予算執行を自由民主党西東京市議団海老沢 進

合併して3年目、こうした厳しい財政状況の中でも、市は一定の行政水準を維持しつつ、なお新市の計画事業を推進していくことが求められている。「はなパス」は利用者累計50万人以上となり好評だが、運営費の増嵩・ルート

合併して3年目、こうした厳しい財政状況の中でも、市は一定の行政水準を維持しつつ、なお新市の計画事業を推進していくことが求められている。「はなパス」は利用者累計50万人以上となり好評だが、運営費の増嵩・ルート